



温室効果ガス観測技術衛星「GOSAT」の 愛称募集結果について

平成20年10月15日
宇宙航空研究開発機構
宇宙利用ミッション本部 事業推進部
部長 道浦 俊夫



1. 経緯

- (1) 平成20年度冬期打上げ予定の温室効果ガス観測技術衛星（GOSAT:ゴースット）について、従来の衛星と同様、一般にも親しみやすい愛称をつけることによって、GOSAT及びGOSATミッションの内容に対するさらなる興味、関心を高め、宇宙開発に係る理解増進を図ることを目的として、GOSAT愛称の一般公募を実施した。
- (2) 平成20年7月10日（木）～9月10日（水）、ホームページ、はがき、応募用紙による募集を行い、応募数上位案からGOSATの愛称を決定した。



2. 応募状況

(1) 募集期間

平成20年7月10日(木)～9月10日(水)

(2) 応募方法

ホームページ、ハガキ、応募用紙による募集

(3) 応募総数 12,683件

(内訳) ホームページ	5,552件
ハガキ	729件
応募用紙	6,402件

有効応募総数 11,719件

愛称点数 3,789点



3. 選定結果

(1) 選定愛称

「いぶき」(ローマ字表記:IBUKI)
GOSATと併記する場合は、「いぶき」(GOSAT)、「IBUKI」(GOSAT)
とする。

(2) 選定愛称提案者

630名

(3) 選定理由

- ・「いぶき」は、有効応募総数の中で高い割合を占め、多くの支持を得た愛称であること。
 - ・「地球の息づかい(息吹(いぶき))である二酸化炭素を観測する衛星」という意味合いをこめた提案理由が多くあり、GOSATのミッション内容を正確に表現している。
- また、「いぶき」には、活気と明るい未来を感じさせる響きがあるため。

(4) 今後の予定

愛称提案者全員に認定証を送付。その中から抽選で1組2名を種子島での「いぶき」打上げ見学に招待。

「いぶき」(GOSAT)の状況について

- 10月 筑波宇宙センターにて最終確認試験を実施
(10月15日現在、順調に進行中)
- 11月4日 筑波宇宙センターにてフライトモデル記者公開の実施
- 11月上旬～ 筑波宇宙センターから種子島へ輸送及び種子島にて射場作業の実施



平成20年10月 筑波宇宙センター
総合環境試験棟内GOSATプロトフライトモデル最終組立作業の様子